

平成30年度 青森県防災ボランティアコーディネーター連携研修会 実施要綱

1 目 的

防災ボランティアセンターの実態や諸課題、ボランティアセンターの重要性等について学ぶとともに、防災ボランティアセンターの運営者である社会福祉協議会と、運営支援者または防災ボランティアとしての活躍が期待される関係団体との平時からの繋がりを強化し、災害時における円滑なボランティア活動が展開できる体制の構築を目指すものです。

2 主 催 青森県、社会福祉法人青森県社会福祉協議会

3 開催日時 平成31年2月19日(火) 10:00 から 16:00 まで (受付9:30 から)

4 会 場 アピオあおもり2階「大研修室1」
(青森市中央3丁目17-1 TEL:017-732-1010)

5 募集定員 50名程度

6 参加対象者

県・市町村及び消防職員、社会福祉協議会職員、ボランティア関係団体の担当者等

7 参加費 無料

8 研修内容

(1) スケジュール

9:30 10:00 10:10 10:35 11:00 12:00 13:00 16:00

受付	主催者 挨拶	説明①	説明②	演習	昼食 休憩	演習
----	-----------	-----	-----	----	----------	----

(2) 内 容

ア 説明①「県内で懸念される災害や防災への取り組み」(10:10~10:35)

県内での災害、その対策と共に、市区町村に期待や求められることを知る。

担当：県危機管理局防災危機管理課

イ 説明②「県内での災害VCの事例と県社協の動き」(10:35~11:00)

実際の災害発生時に市区町村災害VCの重要なパートナーとなる県社協の動きを知る。

担当：県社会福祉協議会 地域福祉課

ウ 演習「災害ボランティアセンターマッチング体験カードゲーム」

(11:00~12:00、13:00~16:00)

1、災害VC運営の3原則とそれらに沿った災害VC像を考える。

2、過去の被災地において実際に災害VCに寄せられたニーズやハプニングを体験し
解決方法や解決の為に平時から必要な取り組みを考える。

3、カードゲームを3つのフェーズ(設置直後・受け入れ人数ピーク時・閉所移行)
で実施する事で、それぞれの時期に必要な事を考える。

進行・解説：一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター

9 演習講師

一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター (PBV)

東日本大震災を受けて「人こそが人を支援できる」を理念に2011年4月に設立。以降「国内外の災害救援」「防災・減災への取り組み」を中心に活動を行っている。これまでに海外10ヶ国、国内34地域での被災地支援を実施、延べ9万人以上のボランティアをコーディネート。その経験をもとに平時には様々な形で防災減災の取り組みを行っており、なかでも防災減災教育プログラムは「災害ボランティア」「自治会や地域住民」「災害ボランティアセンター運営者」「行政」等、対象や目的に合わせた研修や訓練はこれまで500回以上、延べ受講人数は14,000人以上にのぼる。

主な支援先……東日本大震災（宮城県石巻市等）、伊豆大島土砂災害（大島町）
関東・東北豪雨（茨城県常総市等）、熊本地震（益城町、西原村等）、
九州北部豪雨（東峰村、朝倉市） など

主な研修実績…災害ボランティアセンター運営者研修／主催：全社協、各開催地の県社協
民間事業者による災害時の社会貢献活動～企業に求められる災害支援～
／主催：栃木県危機管理課
わが家の災害対応ワークショップ／主催：株式会社カインズ

10 参加申し込み

別紙「参加申込書」により、申込締め切りまでに本会あてFAXにてお申込み下さい。
なお、参加申込書に記載した個人情報は、本研修会の運営管理のみに利用させていただきます。（配布資料に氏名、所属・役職を記載した名簿を掲載します）

11 申込み、問い合わせ先

社会福祉法人青森県社会福祉協議会 地域福祉課（担当：木村）
〒030-0822 青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ2階
TEL 017-723-1391 / FAX 017-723-1394